

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2005-322047 (P2005-322047A)  
【公開日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)  
【年通号数】公開・登録公報 2005-045  
【出願番号】特願 2004-139944 (P2004-139944)  
【国際特許分類】

**G 0 6 F 17/21 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 17 日 (2007.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

コンピュータに、

ある自然言語の文書および指示を入力し、入力した文書に対して該指示に応じた処理を行ってから該文書を出力する一方、入力した文書中の略語と該略語を補足する元の語句とを対応付けて記憶する登録手順と、

前記登録手順の後に、前記自然言語の文書および指示を入力し、入力した文書を、該文書中で元の語句に補足されていない略語の近傍位置に該略語に対応付けて記憶している元の語句を挿入することにより加工し、加工した文書に対して該指示に応じた処理を行ってから該文書を出力する実行手順と

を実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】文書処理装置およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

また、本発明は、コンピュータに、ある自然言語の文書および指示を入力し、入力した文書に対して該指示に応じた処理を行ってから該文書を出力する一方、入力した文書中の略語と該略語を補足する元の語句とを対応付けて記憶する登録手順と、前記登録手順の後に、前記自然言語の文書および指示を入力し、入力した文書を、該文書中で元の語句に補足されていない略語の近傍位置に該略語に対応付けて記憶している元の語句を挿入することにより加工し、加工した文書に対して該指示に応じた処理を行ってから該文書を出力する実行手順とを実行させるためのプログラムを提供する。

このプログラムによれば、使用者はコンピュータに文書および指示を入力するだけで、

指示に応じた処理だけでなく、略語と元の語句とを対応付けて記憶させる処理をも行わせることができる。しかも、後者の処理は、使用者に意識されることなく行われる。また、このコンピュータの使用者が多ければ多いほど、略語および元の語句を効率的に記憶させることができる。

また、このコンピュータは特定の範囲内の使用者に共用されるから、このコンピュータによれば、文書中で元の語句に補足されていない略語の元の語句を正しく特定し、この略語の近傍位置に当該元の語句を挿入することができる。この結果、使用者は適切な出力物を得ることができる。